

# 会長の時間

【五大奉仕 クラブ管理編】

## CLPの目的

CLP (Club Leadership plan) の最大の目的は、クラブを長期的に如何に発展させ、活性化を図って行くかと云うところにあります。「CLPはクラブ組織と活動の簡略化」と捉えているクラブがあるようですが、これは間違いです。クラブ組織と活動を簡略化しますと、クラブはむしろ衰退へ向かう危険性があります。会員の維持と新会員の勧誘を図り、クラブを更に発展させて行くためには、クラブ自体を魅力ある、生き生きとしたクラブへと絶えず変えて行く努力が必要です。CLPはその様な目的をもって各クラブへ推奨されたのです。

## CLPの導入の経緯

クラブを活力のあるものへ高めて行くために、クラブは次のような点を検討し、CLPを導入するように要請されています。

1. クラブの発展に繋がるような長期目標を立案する。
2. 長期目標を支える年次目標を設定する。
3. クラブ協議会などの会合を通じて会員全員がクラブ活動に参加していることを実感出来るようにする。
4. クラブ内及び地区との情報伝達をガバナー補佐や地区委員を通じて円滑に図る。
5. 年度から年度への継続性を保つため、クラブ指導者間の協力を緊密に保つ。
6. 独自のクラブ運営が反映出来るように、クラブの長期計画や細則を適宜修正する。
7. クラブ会員間の親睦が深まるような奉仕と親睦の機会を提供する。
8. 会員全員がクラブのプロジェクトや奉仕活動に活発に関与するように計画する。
9. 会員に対する包括的な研修プランを立案し、指導者を育成する。

## CLPの問題点

### 1) 従来の四大奉仕

「クラブ奉仕」、「職業奉仕」、「社会奉仕」、「国際奉仕」

### 2) CLPに基づいたクラブ委員会構成

「会員増強委員会」、「クラブ広報委員会」、「クラブ管理運営委員会」、  
「奉仕プロジェクト委員会」、「ロータリー財団委員会」

### 3) CLPの問題点

CLPに基づく新しいクラブ委員会構成は上記の5つのクラブ常任委員会より成り、19のクラブ委員会から成るかつての推奨委員会構成にとって代わるものとされていますが、この中には、ロータリーの真髄とも言える職業奉仕委員会も、会員同士の親睦を図る親睦活動委員会も、ロータリーの理念や情報を提供するロータリー情報委員会も、委員会の中に含まれておりません。(ただ、必要があれば、設置してもよいとされていますが)

### 四つのテスト唱和



### クラブフォーラム



セイタカアワダチ草  
駆除事業に向けて

### 今日のランチ



誰かさんの好きなカツカレー